

事業所名 放課後等デイサービスLaLaラフター

令和7年3月

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		遊びのできる広いスペースと2部屋の小部屋があり、使用目的別に対応できている	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		職員数は適切に配置されている	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		児童に分りやすいよう構造化がされており、前面バリアフリーになっている	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清潔保持に努め、環境を整えている。また活動に合わせて使用できるように配慮している	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		2部屋の小部屋があり、児童の必要に応じて使用が可能である	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎朝にミーティングを実施。日々の業務や療育支援、利用児童状況等において情報共有し、改善案などを確認している	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向け評価表を実施し、保護者への説明理解と業務改善へ繋げている	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ミーティングや面談の機会があり、意見を把握し、業務改善につなげている	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者外部評価体制が整えば検討していきたい
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		施設外部研修に参加。施設内研修も実施している	
支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムの作成・公表は適切にされている	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		アセスメントを定期的に行い、利用児童の状況や保護者からのニーズを取り入れて計画作成している	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		全職員が計画に目を通し、情報を共有しながら検討している	

適切な支援の提供	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画の情報を共有し、計画の流れに沿った支援にあたっている	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		施設のアセスメントシートを契約時に活用し、保護者からの情報をまとめている	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに沿った計画の狙いを踏まえており、項目を設定、支援内容が組み込まれている	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		全職員に意見を求め、掌握了るもので立案している	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節的なプログラムや街のイベント、ネット検索を活用し、様々なプログラム計画に繋げている	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		利用児童の状況に合わせた個別支援を行ったり、集団活動を通して支援している	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日のミーティングで打ち合せを実施。職員間で連携を図りながら支援している	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後のミーティングは難しいため、次の日の朝や時間があるときに支援の在り方や気付きを振り返って共有している	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日の記録を作成し、支援方法の確認や改善点を話し合っている	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリング実施し、サービス計画へ落とし込みを行っている	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○		自由遊びとプログラムの中で自主性や社会性を育くめるように複数の活動を組み合わせながら対応している	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		児童があらゆる場面や物事を自己選択・自己決定ができるように工夫を取り入れた支援を支援を行っている	
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が会議に出席し、得た情報を他の職員へ情報共有している	
	27 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		地域医療(協力医療機関)と連携しており、体制を整えている	

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	<input type="radio"/>		学校との情報共有を都度行っており、連絡調整している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>		必要がある場合には情報共有している	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>		学校卒業児童がいる場合は情報提供する体制をとっている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>		助言や研修参加が出来るような環境を整えている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		<input type="radio"/>		児童館や児童クラブとの交流はないため今後は実施していきたい
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		<input type="radio"/>		地域自立支援会議参加はないが、特別支援教育連絡会議には参加している
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		メール、電話、手帳にて状況や課題などの連絡をし、共通理解を日々図っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		保護者との面談を定期的に行って対応している	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		契約時に説明を行っている。質問等がある場合は常に対応を心掛けている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		定期的な面談やアセスメント時に保護者の意思の尊重や児童の意向を確認している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		契約時や面談時に説明を行っており、同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		相談ができる環境を伝え、相談がある場合は対応したり、書面やツールにて助言を行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		<input type="radio"/>		父母の会を望まない保護者もいるが、保護者同士の連携を望まれる場合は図れるような場を設定できるように計画したい
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		児童からの訴えや保護者の苦情がある場合は迅速に対応することを心掛けている	

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		会報は発行していないが、行事予定や連絡体制は常に連絡ツールを活用して発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		個人情報規定に基づき十分に注意している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		文章や図、イラストを用いて書面で情報を伝達するなど配慮している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		<input type="radio"/>		ボランティアの受け入れを今後考えている
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		事故防止マニュアル、感染防止マニュアルを策定しており、職員への周知、訓練を実施している	
	47	業務継続計画(BCP)を策定とともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		業務継続計画(BCP)を策定しており、災害発生を想定した訓練を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		アセスメント時に児童の病気や服薬などについて情報を聞き、確認をとっている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>		契約時のアセスメント情報で確認している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		安全計画の作成、研修会を実施し、職員の周知に繋げ、支援を行っている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		契約時、面談時などで児童の安全確保、安全計画の取り組みについて保護者へ伝えている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		ヒヤリハット事例をもとに部内研修で共有している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		行政が実施している研修会に参加している	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		身体拘束を必要とする児童はないが、必要とするときは身体拘束マニュアルに沿って保護者に説明同意の上で実施することとしている	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。